

政策コメント一報告(第1回、意見照会期間:2014年8月22日～9月4日) 武輪 俊彦:武輪水産株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。	良くなっている	東北の水産加工業は盛漁期の初期を迎え、3か月前に比べ操業度を上げてきている。消費税増税の転嫁も外税表示の対応でスムーズに行われ、販売量へ与えた影響も限定的だったと思われる。また地盤の問題で復旧が遅れている地域も、徐々に新しい設備が整いつつある。ただし復旧が遅れた企業の中には、原料調達・人員確保・販路開拓にこれから取り組まなければならないところもある。主力魚種の水揚げ不振で魚価が高くなった分の製品価格の転嫁は充分できておらず、収益が圧迫されているものが多い。その中で比較的価格が安定しているサバの引き合いが強く、缶詰・しめ鯖・塩さばで生産が間に合わず、一部出荷調整も見られる。
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	人手不足が深刻になってきている。特に被災が大きく、人口が減少した地域では、工場が完成しても作業員不足のために稼働できないところもある。またショッピングセンターの開業に伴う求人により賃金が大幅に上昇した地域も見られ、人件費コストの上昇に苦慮している。また人手不足解消のため、新たに外国人研修生を検討する企業も出てきている。
景気回復の拡大に向けた取組			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	なし
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。 ①設備投資・企業収益の増加	Yes	設備投資については、中小企業等グループ復旧整備事業費補助金のほか、水産庁のHACCP対応のための水産加工・流通施設の改修支援事業、目詰まり解消プロジェクト計画、中小企業庁の中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業などの補助金を活用して、過去にない規模の投資が行われた。ただし、収益については人手不足による稼働率の低迷、原魚高・電気料金等のコストアップを充分価格に転嫁できていないことなどから厳しい状況にある企業が多いと思われる。

政策コメントター報告(第1回、意見照会期間:2014年8月22日～9月4日) 武輪 俊彦:武輪水産株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
	②賃金上昇・雇用拡大	Yes	企業収益の好転という要因ではなく労働力確保の必要性から、賃金を引き上げて新規募集を行う傾向が見られる。ただし、既存の従業員の賃金を大きく底上げすることは、国内同業者はもとより中国やベトナムなど海外との競争の面から困難であり、全体としての上昇幅は低く抑えざるを得ないところがほとんどと思われる。その中でも受注に間に合わないところでは、雇用期間を限定するという条件で、既存従業員を上回る賃金で募集を行う企業も見られる。
	③個人消費の拡大	No	食料品についてはあまり変化は感じられない。
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>	Yes	<p>各種補助事業を通して中小企業等が支援されていると実感している。人手不足により稼働率が低迷しているという問題はあるが、全産業を通して景気が上昇していることの表れと認識している。今後は労働集約型産業の生産性向上、省力化に向けた支援が期待される。そのことが非正規雇用労働者の処遇改善につながるものと考えている。</p>
自由テーマ			
3	<p>その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。</p>	—	なし